



# 米国株 MARKET PICK UP



先週の米国株式市場—経済指標の上振れなどを好感しダウ平均は史上最高値更新—

	前週終値	11月3日	11月4日	11月5日	11月6日	11月7日	週間騰落幅	週間騰落率
ダウ平均	17,390.52	17,366.24	17,383.84	17,484.53	17,554.47	17,573.93	+183.41	+1.05%
騰落幅		-24.28	+17.60	+100.69	+69.94	+19.46		
S&P500	2,018.05	2,017.81	2,012.10	2,023.57	2,031.21	2,031.92	+13.87	+0.69%
騰落幅		-0.24	-5.71	+11.47	+7.64	+0.71		
ナスダック総合指数	4,630.74	4,638.91	4,623.64	4,620.72	4,638.47	4,632.53	+1.79	+0.04%
騰落幅		+8.17	-15.27	-2.92	+17.75	-5.94		

### ＜先週の概況＞

先週の米国株式市場は、週初は中間選挙の結果待ちだったことから上値の重い展開となりましたが、週の半ばからは雇用統計の先行指標であるADP雇用統計が市場予想を上回ったことや、ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁が追加金融緩和について前向きな姿勢を示したことなどが好感され上昇しました。

ダウ平均は史上最高値を更新して、初めて1万7500ドルの節目を突破しました。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

## 米国株式市場バリュエーション

指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	15.5	3.0	2.2%
S&P500	16.9	2.8	2.0%
ナスダック総合指数	22.8	3.5	1.1%

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2014年11月7日時点)

S&P500と予想PERの推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

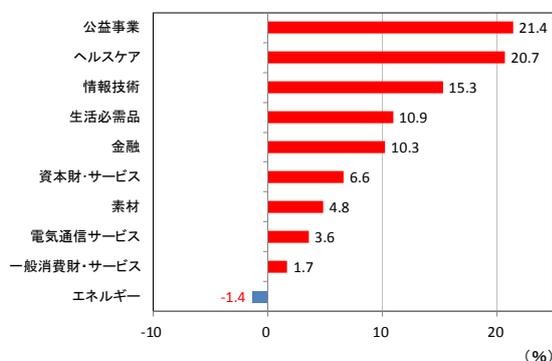
ドル円と米国長期金利の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

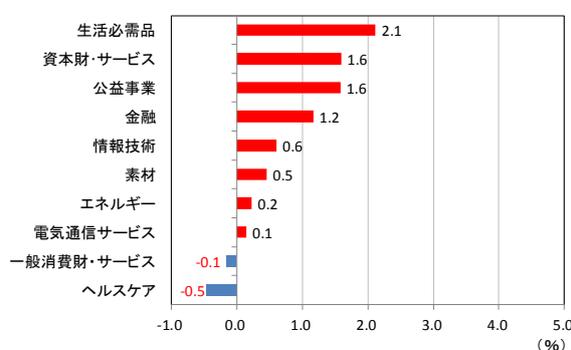
## 業種別リターン

S&P500 業種別年初来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

## ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング (11/3-11/7)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
V	Visa	4.6
MSFT	マイクロソフト	3.7
CSCO	シスコシステムズ	3.5
WMT	ウォルマート・ストアーズ	3.3
AXP	アメリカン・エクスプレス	2.6
MRK	メルク	2.4
GE	ゼネラル・エレクトリック	2.3
PG	プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー	2.1
UTX	ユナイテッド・テクノロジー	1.9
DD	イー・アイ・デュポン・ド・ヌムール	1.8

(出所) マネックス証券作成

値下がり率ランキング (11/3-11/7)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
DIS	ウォルト・ディズニー	-1.5
UNH	ユナイテッドヘルスグループ	-1.5
IBM	IBM	-1.4
INTC	インテル	-1.3
CVX	シェブロン	-1.0
BA	ボーイング	-0.4
XOM	エクソンモービル	-0.1
PFE	ファイザー	-0.1

(出所) マネックス証券作成

### <上昇>

ダウ平均採用の 30 銘柄中 21 銘柄が上昇しました。前週に引き続き値がさ株のビザ (V) が大きく上昇したことでダウ平均全体をけん引しました。

### <下落>

ウォルト・ディズニー (DIS) が発表した 7-9 月期の決算は増収増益と良好だったものの、材料出尽くし感から発表後に売られた格好となりました。また、原油安の流れは変わらず、シェブロン (CVX) やエクソン・モービル (XOM) も小幅に下落しました。

先週発表された主な経済指標

非農業部門雇用者数 10月 +21.4万人 市場予想 +23.5万人 前月 +25.6万人  
 失業率 10月 5.8% 市場予想 5.9% 前月 5.9%

7日に発表された10月の雇用統計で、非農業部門雇用者数は前月差21.4万人増と9ヶ月連続で20万人増を上回る堅調な内容となりましたが、市場予想は下回りました。ただし、9月分が+24.8万→+25.6万、8月分が18.0万→20.3万と計3.1万人上方修正されました。

一方、失業率は0.1%低下した5.8%と2008年7月以来約6年ぶりの低水準となりました。労働市場の改善は継続していると見て良いでしょう。

非農業部門雇用者数と失業率



(出所)マネックス証券作成

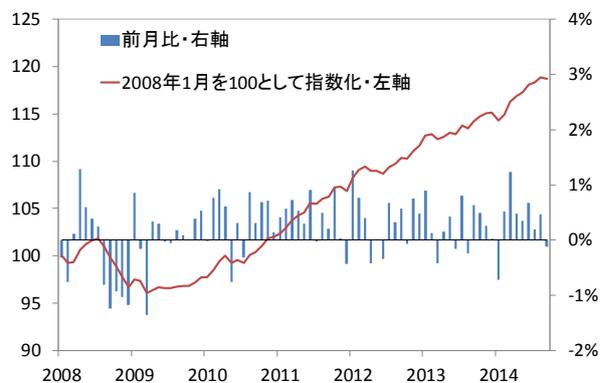
今後発表される主な経済指標

11月14日 10月 小売売上高(前月比) 市場予想 +0.2% 前月 -0.3%

14日に10月の小売売上高が発表されます。9月分は市場予想以上に前月からの売上高が減少したことから、米国の個人消費への懸念材料となり、株価が一時大きく下げるきっかけとなりました。

先に発表された新車販売台数や消費者センチメントなど、個人消費関連指標は堅調に推移しているため10月分は前月からの増加が予想されています。

小売売上高(自動車・ガソリン除く)



(出所)マネックス証券作成

マーケットビューファンダメンタルズは依然堅調 株価は上昇基調を維持かー

先週のマーケットビューでは、堅調な米国経済と企業業績に支えられて米国市場の株価は一段高となるのではないかと記しましたが、幸いにも株価は続伸し、ダウ平均やS&P500は史上最高値を更新しました。

7日に発表された雇用統計では非農業部門雇用者数のヘッドラインこそ市場予想を下回ったものの、8月分・9月分は上方修正されており9ヶ月連続で前月差20万人以上の増加を達成するなど、労働市場の改善は引き続き堅調に続いています。

ほぼ出揃ってきた米国企業の決算発表では、ロイター社の集計によればS&P500採用企業は9.8%増益を確保する見込みとなっています。引き続き米国経済のファンダメンタルズは堅調に推移しており、株価は中長期的に上昇基調を維持すると見て良いと考えています。

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

利益相反に関する開示事項

マネックス証券株式会社は、契約に基づき、オリジナルレポートの提供を継続的に行うことに対する対価を契約先証券会社より包括的に得ておりますが、本レポートに対して個別に対価を得ているものではありません。レポート対象企業の選定はマネックス証券が独自の判断に基づき行っているものであり、契約先証券会社を含む第三者からの指定は一切受けておりません。レポート執筆者、並びにマネックス証券と本レポートの対象会社との間には、利益相反の関係はありません。

- ・当社は、本レポートの内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。
- ・記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。
- ・提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。
- ・当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号  
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、  
 一般社団法人 日本投資顧問業協会